

2019 年度地域包括ケアシステムの中で多職種と連携できる

## 歯科衛生士育成研修会シンポジウムのお知らせ



日本では超高齢社会を迎え、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。このため、厚生労働省においては、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

今後は、特に在宅療養者・要介護高齢者等の「口から食べる楽しみの充実」を支援し、低栄養や誤嚥性肺炎を予防するための、口腔健康管理ができる歯科衛生士が求められます。

そこで、日本歯科衛生士会の武井典子会長より歯科衛生士の役割について基調講演していただき、医療・介護・介護予防などの場面で活躍している歯科衛生士によるシンポジウムを企画しました。みなさん、是非ご参加ください。



**開催日：9月8日（日）**

**会場：福岡県歯科医師会館**

**受講料：会員 2500 円**

**受付開始時間：9:30～**

\* 日本歯科衛生士会生涯研修単位

日程	内容・講師	単位
10:30～ 12:00	基調講演 「食べる」を支えるための歯科衛生士の役割 日本歯科衛生士会 会長 武井 典子先生	
13:00～ 15:30	シンポジウム ①急性期病院：周術期の口腔機能管理 九州大学病院医療技術部 歯科衛生室 歯科衛生士 有水 智香先生 ②回復期病院：多職種協働での口腔機能管理 小倉リハビリテーション病院 臨床サービス部 歯科衛生士 八丁 亜由美先生 ③介護保険施設：口腔衛生管理加算 福岡県歯科衛生士会 歯科衛生士 池田 由紀江先生 ④在宅：居宅療養管理指導 福岡県歯科衛生士会 歯科衛生士 本田 恵利先生 ⑤地域：介護予防事業・地域ケア会議 福岡県歯科衛生士会 歯科衛生士 古賀 直子先生	5 単位
15:30～	質疑応答：ディスカッション	
16:00	終了	



●定 員：100 名

●申込締切り 8月23日